

授業科目名	国際環境論	担当教員	西崎 伸子
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	3 年 第 3 クォーター		
講義内容	現代の環境問題はグローバルに展開し、一国の環境政策では解決困難な大きな社会問題となっている。本講義では、具体的な環境問題として、公害問題、ゴミ問題、野生動物保護問題、森林問題、気候変動問題などを取りあげ、グローバル環境問題を読み解くための基礎知識と、解決のための基本的な考え方・政策・制度について示す。また、各環境問題の解決に向けて、わたしたちがどのようにしていけばよいのかについて、受講生が考え、議論できるように講義する。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際的な環境問題について、基礎的な内容を理解し、自分の見解を持ち、記述して説明することができる</li> <li>・ 講義の内容以外の「グローバル環境問題」に関心をもち、講義の内容をふまえて自分の見解を持ち、記述して説明することができる</li> </ul>		
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ガイダンス：人間とは何か</li> <li>2 ローカルからグローバルへⅠ：産業革命と環境問題</li> <li>3 ローカルからグローバルへⅡ：公害事件と環境政策</li> <li>4 野生動物のグローバル商品化Ⅰ：獣害と観光</li> <li>5 野生動物のグローバル商品化Ⅱ：象牙</li> <li>6 気候変動とエネルギーⅠ：石炭、原発</li> <li>7 気候変動とエネルギーⅡ：再生可能エネルギー</li> <li>8 食・環境・人権Ⅰ：アブラと森林</li> <li>9 食・環境・人権Ⅱ：大豆と土地</li> <li>10 ゴミ問題Ⅰ：プラスチックゴミ</li> <li>11 ゴミ問題Ⅱ：洋服リサイクル</li> <li>12 まとめと「まとめのテスト」</li> </ol>		
事前・事後学習	毎回の授業のテーマに関連する新聞記事や書籍などの情報を収集し、目を通しておくこと		
テキスト	教科書は使用せず、資料を配信（配布）する。		
参考文献	授業時に適宜紹介する		
成績評価の基準	授業時間内に数回の課題を課す。また、最終回に「まとめのテスト」をおこなう。成績評価は課題（5割）、まとめのテスト（5割）とする。		

履修上の注意 履修要件	定員を超過した場合は成績（直近の累計 GPA）をもとに選抜する。4年生及び過年度生を理由として優先しない。
実践的教育	該当しない。
備考欄	